

PRESS RELEASE

見たくないか？
宇宙の驚異の姿を――

特別展

人類はどこへ向かうのか――

To the Moon
and Beyond

2025
10.18 SAT

2026
01.18 SUN

Special Exhibition
Deep Space
To the Moon and Beyond

豊田市博物館 TOYOTA CITY MUSEUM

【開館時間】10:00～17:30(入場は17:00まで)

【休館日】月曜日(ただし11月3日、11月24日、1月12日は開館)、12月28日～2026年1月2日

【主催】豊田市博物館、NHK名古屋放送局、NHKエンタープライズ中部、中日新聞社、中部経済新聞社 [企画協力] 日本科学未来館

【後援】文部科学省、内閣府宇宙開発戦略推進事務局、愛知県教育委員会

【協力】宇宙航空研究開発機構(JAXA)、自然科学研究機構国立天文台(NAOJ)、東京大学、理化学研究所(RIKEN)、一般社団法人SPACETIDE、一般社団法人宇宙旅客輸送推進協議会、とよた科学体験館

【監修者】戸梶歩(宇宙開発エバンジェリスト) [天文分野監修] 平松正顕(自然科学研究機構国立天文台 天文情報センター副センター長)

【お問い合わせ】豊田市博物館 0565-85-0900

放送100年



特別展
深宇宙展
— 人類はどこへ向かうのか —
To the Moon and Beyond
Special Exhibition "Deep Space -To the Moon and Beyond-"

世界初公開となる、「アルテミス計画」のために日本が開発している有人月面探査車の実物大模型や大画面で体感する火星ツアーなど、最新宇宙探査技術とその成果が一堂に集結します。月を超え、火星へ。そして深宇宙の謎に挑む。人類の新たな宇宙への挑戦を体感する大規模宇宙展です。

人類は今、かつてない宇宙探査の時代を迎えています。アポロ計画からおよそ半世紀。再び月に宇宙飛行士を送り、将来的に火星の有人探査を行うという人類の夢が現実のものになろうとしています。本展は、JAXA、国立天文台、東京大学をはじめとする日本の主要な宇宙研究開発機関、宇宙開発に携わる多くの企業・団体の協力により実現しました。子どもにもわかりやすい解説や体験コーナーも多数設置します。宇宙への挑戦を続ける人類の「知」をぜひこの機会にご覧ください。

※深宇宙とは…地球から200万キロ以上離れた宇宙は「深宇宙」と呼ばれている。

開催概要

展覧会名：特別展「深宇宙展～人類はどこへ向かうのか」To the Moon and Beyond
会期：2025年10月18日(土)～2026年1月18日(日)
開館時間：10:00～17:30(入場は17:00まで)
休館日：毎週月曜日、12月28日(日)～1月2日(金)
ただし、11月3日(月・祝)、11月24日(月・祝)、1月12日(月・祝)は開館
会場：豊田市博物館(愛知県豊田市小坂本町5丁目80番地)
主催：豊田市博物館、NHK名古屋放送局、NHKエンタープライズ中部、中日新聞社、中部経済新聞社
企画協力：日本科学未来館
後援：文部科学省、内閣府宇宙開発戦略推進事務局、愛知県教育委員会
協力：宇宙航空研究開発機構(JAXA)、自然科学研究機構国立天文台(NAOJ)、東京大学、理化学研究所(RIKEN)、一般社団法人SPACETIDE、一般社団法人宇宙旅客輸送推進協議会、とよた科学体験館
監修：戸梶歩(宇宙開発エバンジェリスト)
天文分野監修：平松正顕(自然科学研究機構国立天文台 天文情報センター副センター長)
公式サイト：<https://deep-space.jp>
公式SNS：X：@deep_space_2025 / Instagram：@deep_space_2025

● 展示内容、会期、開館時間、休館日については、今後の諸事情により変更する場合があります。
最新情報は展覧会公式サイトをご確認ください。

チケット

	一般	高校生・大学生
前売券	1700円	800円
当日券	1900円	1000円

※高校生・大学生は要学生証提示。

※無料対象者：中学生以下、豊田市内在住の高校生、豊田市内在住の18歳以下(満18歳から最初の3月31日まで)、豊田市内在住の70歳以上、豊田市内在住の母子・父子家庭医療費受給者。(要学生証・証明書提示)

※身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・療育手帳のいずれかの交付を受けている方およびその介助の方1名は、手帳(ミライROID可)の提示により観覧料が無料となります。

※20名以上の団体は、当日料金より100円引き。 ※前売券は7月17日(木)から10月17日(金)まで販売。

特別展
深宇宙展
— 人類はどこへ向かうのか —
To the Moon and Beyond
Special Exhibition "Deep Space -To the Moon and Beyond-"

企画チケット

当日券(一般2枚)より
600円 お得!!

◆ペアチケット(一般2枚)

3,200円

※ペアチケットはBoo-Wooチケット、ローソンチケットのみの販売。
※数量限定。予定枚数に達し次第、販売終了。
※ペアチケットは2名が別々に、または1名で2回ご入場も可能です。

◆グッズセット券 (一般1枚と「宇宙なんちゃら こてつくん」コラボトートバッグ)

3,600円

※グッズセット券はBoo-Wooチケット、ローソンチケット、ART PASSのみの販売です。
※グッズセット券は本展会期中の開館時間内に限り、展覧会特設ショップにて引換可能です。
グッズは会場の特設ショップでも販売します。
※グッズの引換について、郵送等の対応や会期終了後の引換はいたしかねます。
※掲載画像はイメージです。実際の商品とはデザインなどが異なる場合があります。
※トートバッグ(高さ:約37cm、幅:約36cm、マチ:約12cm、ハンドル:約55cm)



©Space Academy/ちよっくら月まで委員会2

●金額はいずれも税込

監修者メッセージ



宇宙開発エバンジェリスト

戸梶 歩 さん

人類が果敢に挑む深宇宙。それは、まだ多くの謎に包まれた広大な世界です。「深宇宙展」では、最先端の宇宙探査技術やミッションの成果を通じて、私たちがどのように宇宙を理解し、その未来を切り拓こうとしているのかをご紹介します。

「はやぶさ」や「はやぶさ2」の持ち帰った貴重なサンプル、迫力満点のH3ロケットのフェアリングや有人圧ローバーの実物大模型、火星の衛星からサンプルを持ち帰る火星衛星探査計画MMXの2分の1模型の展示に加えて、大画面映像での火星ツアー体験など、見どころが満載です。本展を通じて、宇宙探査・宇宙開発技術の可能性と、それが描く未来に思いを馳せていただければ幸いです。この壮大な宇宙の物語を、ぜひあなた自身の目で体感してください。

とかじ・あゆむ

東京大学、東京大学大学院、米国スタンフォード大学大学院卒業後、ロッキードマーティン社に入社、米の航空宇宙関連会社、慶應義塾大学大学院の特任講師を経て、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の火星衛星探査機MMXプロジェクトの主任研究開発員を務める。これまでに4機の人工衛星の開発に従事。現在はSF科学技術考証家としてSF作品の製作にかかわりながら、宇宙開発のワクワクを一人でも多くの人に伝えていく「宇宙開発エバンジェリスト(解説者)」としても活動。

スペシャルメッセージ



宇宙飛行士

若田 光一 さん

「深宇宙展」の開催おめでとうございます。

宇宙探査は人類のあくなき探求心と未知への挑戦への勇気を象徴しています。

月から火星、そして、太陽系を超えて、私たちは宇宙への理解を広げる驚くべき多くの発見をしてきました。

深宇宙の探求は宇宙の起源や地球外生命の可能性を探るだけでなく、地球を守るための洞察も我々に与えてくれます。

この展覧会は最先端の技術と画期的な観測を通じて、宇宙の無限の可能性を体験できるユニークな機会を皆さんに提供してくれます。

私も皆さんと一緒にこのイベントに参加し、人類の宇宙への旅の次のステップに向けて刺激を受け、挑戦していく気持ちを新たに持てることを楽しみにしています。

わかた・こういち

宇宙飛行士として日本人最多の5回の宇宙飛行を果たし4つの異なる宇宙船(スペースシャトル、ソユーズ、スペースXクルードラゴン、ISS)に搭乗した。国際宇宙ステーション(ISS)では、日本人初のISS船長として3回の長期ミッション、合計14時間2分となる2回の船外活動、4つのロボットアームを運用した。2024年にJAXAを退職し、現在はアメリカAXIOM SPACEの宇宙飛行士兼アジア太平洋地域の最高技術責任者を務める。

「深宇宙展」のみどころ

世界初公開！

その1

半世紀ぶりの有人月面探査「アルテミス計画」の関連展示が目白押し

宇宙飛行士が車内で約1カ月生活しながら探査を行える、次世代の月面探査車「有人圧ローバー」の実物大模型を世界初公開！さらに、月面資源を採る「月面誘電率計測器(LDA)」も展示。

月面を走る
有人圧ローバー



有人月面探査車「有人圧ローバー」実物大模型
※東京会場の様子

その2

「はやぶさ」&「はやぶさ2」が持ち帰った貴重な小惑星の粒子を公開！

世界で初めて小惑星の粒子を持ち帰った「はやぶさ」と、水やアミノ酸を含むサンプルを小惑星から持ち帰った「はやぶさ2」の貴重な粒子を顕微鏡で観察できる！

火星の衛星フォボスからサンプルを持ち帰る火星衛星探査計画「MMX」の2分の1模型も展示。

はやぶさ2



提供：JAXA/イラスト 池下章裕

その3

迫力満点！「H3ロケット」最先端部を間近で体感！

日本の最新基幹ロケット「H3ロケット」の先端部(フェアリング)を実物大模型で再現！
圧倒的なスケールを目の前で感じよう！

H3ロケットの
フェアリング



提供：JAXA



「H3ロケット フェアリング」実物大模型
※東京会場の様子

「深宇宙展」のみどころ

その4

本物のロケット部品にさわれる貴重な機会！

JAXA種子島宇宙センターから特別に運ばれた本物のロケット部品にふれて、宇宙開発のリアルを体感しよう！



断熱材(さわれるロケット部品)
※東京会場の様子

その5

大画面映像で体感する火星&深宇宙ツアー！

火星探査の成果や雄大な火星の風景、ブラックホール、第二の地球を探す深宇宙の旅を大迫力の映像で楽しもう！
観測機器の模型も展示。

特別展示！

その6

前澤友作さんが搭乗した「ソユーズ宇宙船 帰還モジュール」実機を大公開！

前澤友作さんが宇宙旅行の帰還時に使用した「ソユーズ宇宙船」を間近で鑑賞。
大気圏再突入時にできた焦げ跡も必見！

「ソユーズ宇宙船
帰還モジュール」実機



「ソユーズ宇宙船 帰還モジュール」実機
※東京会場の様子

●東京会場とは一部展示内容が異なります。

特別展

深宇宙展

— 人類はどこへ向かうのか —
To the Moon and Beyond
Special Exhibition "Deep Space -To the Moon and Beyond-"

展示映像ナレーター



展示映像ナレーター

蒼井 優 さん(俳優)

展示映像ナレーターとして、NHKフロンティアで語りを務める蒼井優さんが展覧会をナビゲート。

音声ガイド



ナビゲーター

小西 克幸さん(声優)

4月21日生まれ。和歌山県出身。賢プロダクション所属。
主な出演作は「鬼滅の刃」宇髄天元役、「ウマ娘 シンデレラグレイ」北原穰役、
「キン肉マン 完璧超人始祖編」ロビンマスク役、
「夜桜さんちの大作戦」夜桜凶一郎役などがある。
「チ。ー地球の運動についてー」では「オクジー」の声を務めた。

◆音声ガイド料金(税込)

[会場レンタル版]貸出料金 650円

[アプリ(iOS/Android)配信版]「iMuT いつでもミュージアム・トーク」配信料金 650円

(※1ダウンロードにつきご利用はおひとり様まで)

特別展

深宇宙展

— 人類はどこへ向かうのか —
To the Moon and Beyond
Special Exhibition "Deep Space -To the Moon and Beyond-"

イベント

特別展「深宇宙展」開催記念講演会

『深宇宙展』がひらく宇宙への扉——監修者とめぐる見どころと宇宙開発の未来像

講師 戸梶 歩さん(本展監修者, 宇宙開発エバンジェリスト)

日時 10月18日 (土)14:30~16:00

場所 豊田市博物館 セミナールーム

申込 当日先着100名 ※要「深宇宙展」観覧券



宇宙開発エバンジェリスト

戸梶 歩 さん

東京大学、東京大学大学院、米国スタンフォード大学大学院卒業後、ロッキードマーティン社に入社、米の航空宇宙関連会社、慶應義塾大学大学院の特任講師を経て、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の火星衛星探査機MMXプロジェクトの主任研究開発員を務める。これまでに4機の人工衛星の開発に従事。現在はSF科学技術考証家としてSF作品の製作にかかわりながら、宇宙開発のワクワクを一人でも多くの人に伝えていく「宇宙開発エバンジェリスト(解説者)」としても活動。

● その他のイベントにつきましては順次公式サイトにて発表いたします。

小説家・河野裕氏がディレクション・ストーリーを担当する LINEアカウント「リリア」で展覧会をもっと楽しもう！

LINEアカウント「リリア」は「深宇宙展」とNHK宇宙・未来プロジェクトがともにお届けするスペシャルアカウントです。100年後の未来から突如現れたAI少女「リリア」とチャットで会話しながら、彼女の失われた記憶を取り戻すミッションを展開、展覧会や番組の最新情報も随時発信していきます。ディレクション・ストーリーを担当するのは小説家の河野裕さん。リリアと会話を重ねるうちに、自然と宇宙に詳しくなっていくかも！？



ディレクション・ストーリー

河野 裕 さん

本作は、リリアという名の「迷子のAI」とあなたがLINEで会話することで進行する、様々なフィクションと現実を横断する物語です。まずは気楽にLINEアカウントと「友だち」になっていただけると嬉しいです。もしあなたがリリアに興味を持ったなら、そこから物語が大きく展開していきます。現実と非現実の出会いを、ぜひお楽しみください。

この・ゆたか

2009年、『サクラダリセット CAT, GHOST and REVOLUTION SUNDAY』でデビュー。『いなくなれ、群青』で大学読書人大賞受賞、『君の名前の横顔』で読者による文学賞受賞。『昨日星を探した言い訳』『彗星を追うヴァンパイア』で山田風太郎賞候補。主な著作に「階段島」シリーズ、「架見崎」シリーズなどがある。



リリア



アカウント名：
リリア from Deep Space

URL：
<https://lin.ee/MhFCfbA>

深宇宙展

— 人類はどこへ向かうのか —
To the Moon and Beyond
Special Exhibition "Deep Space: To the Moon and Beyond."

広報画像申請用紙

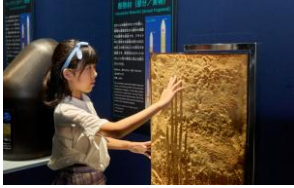
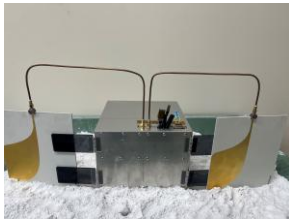
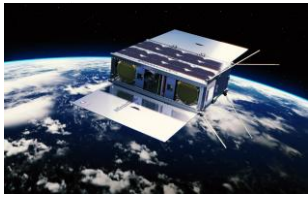
10月18日(土)～2026年1月18日(日)

豊田市博物館

本展の作品画像を、広報素材として提供いたします。別紙申請用紙に必要事項をご記入の上FAXまたはメールにてお申し込みください。画像(JPEG)をメールで送信いたします。

【画像使用に際しての注意】

- 本展広報目的での使用に限ります。使用可能期間は本展会期終了までとなります。
- 画像使用の際は、展覧会名、会期、会場名(特別展「深宇宙展～人類はどこへ向かうのか」、10月18日(土)～2026年1月18日(日)、豊田市博物館)、展示物名、所蔵先・クレジット表記(リスト参照)を必ず掲載してください。
- 画像は全て全図で使用してください。トリミング、縦横比の変更、文字や他のイメージを重ねることはできません。
- 掲載前に、校正原稿を下記の問い合わせ先にFAXまたはメールでお送りください。お送りいただけない場合、掲載内容についての責任は主催者側で負いかねます。
- 掲載誌(紙)、録画DVD等を下記の問い合わせ先にご送付ください。ウェブサイトの場合は掲載URLを公開時にお知らせください。
- 本展をご紹介いただく場合、ご希望があれば本展招待券を貴媒体読者プレゼント用に提供します。(5組10名様・10枚まで)

①特別展「深宇宙展～人類はどこへ向かうのか」 To the Moon and Beyond メインビジュアル 横 縦 	②特別展「深宇宙展～人類はどこへ向かうのか」To the Moon and Beyondロゴ 	③「H3ロケット フェアリング」実物大模型 ※東京会場の様子 	④断熱材(さわれるロケット部品) ※東京会場の様子 
⑤前澤友作さんが搭乗した「ソユーズ宇宙船 帰還モジュール」実機 	⑥「ソユーズ宇宙船 帰還モジュール」実機 ※東京会場の様子 	⑦LDA 	⑧有人月面探査車「有人圧ローバー」実物大模型※東京会場の様子 
⑨火星衛星探査計画「MMX」探査機の1/2 模型※東京会場の様子 	⑩アルマ望遠鏡 	⑪おうし座HL星の周囲の塵の円盤 	④NinjaSat 

【JAXA提供画像の使用について】

上記の画像以外に、本リリースに掲載されているJAXA提供の画像の使用を希望される方は、右の素材番号でJAXAに直接利用申請を行ってください。
利用申請手続きや素材提供などに5営業日程度の時間を要することがあります。
手順・条件などの詳細は下記サイトでご確認ください。

▶ <https://jda.jaxa.jp/service.php>

【JAXA提供画像 素材番号】

H3ロケットフェアリング: P100014992

特別展「深宇宙展」実行委員会事務局

FAX : 052-221-0739

E-mail : sakamoto.n@chunichi.co.jp

画像(JPEG)はメール送信いたします。

画像をご掲載の際には、下記クレジット表記、別紙注意事項を遵守いただきますよう、お願いいたします。

■ 広報画像(ご希望の画像にチェックを入れてください)

✓	No.	【ご掲載時に必要なクレジット表記】
☐	1	※クレジット不要
☐	2	※クレジット不要
☐	3	「H3ロケット フェアリング」実物大模型※東京会場の様子
☐	4	断熱材(さわれるロケット部品)※東京会場の様子
☐	5	前澤友作さんが搭乗した「ソユーズ宇宙船 帰還モジュール」実機
☐	6	「ソユーズ宇宙船 帰還モジュール」実機※東京会場の様子
☐	7	LDA 提供:東京大学
☐	8	有人月面探査車「有人と圧ローバー」実物大模型※東京会場の様子
☐	9	火星衛星探査計画「MMX」探査機の1/2模型※東京会場の様子
☐	10	アルマ望遠鏡 ©ALMA(ESO/NAOJ/NRAO)
☐	11	おうし座HL星の周囲の塵の円盤 ©ALMA (ESO/NAOJ/NRAO)
☐	12	NinjaSat 画像提供:理化学研究所

貴社名		
媒体名		
掲載・放送予定日		
ご担当者名		E-mail:
連絡先	Tel:	FAX:
所在地		
読者プレゼント用チケット	枚	

特別展「深宇宙展」実行委員会事務局
(中日新聞社文化事業部内) 担当:坂本・遠藤
〒460-8511 名古屋市中区三の丸1-6-1
Tel: 052-221-0729 / Fax: 052-221-0739
E-mail: sakamoto.n@chunichi.co.jp